

2021年度 防災に関する 意識調査結果のあらまし



あいち防災キャラクター
防災ナマズン

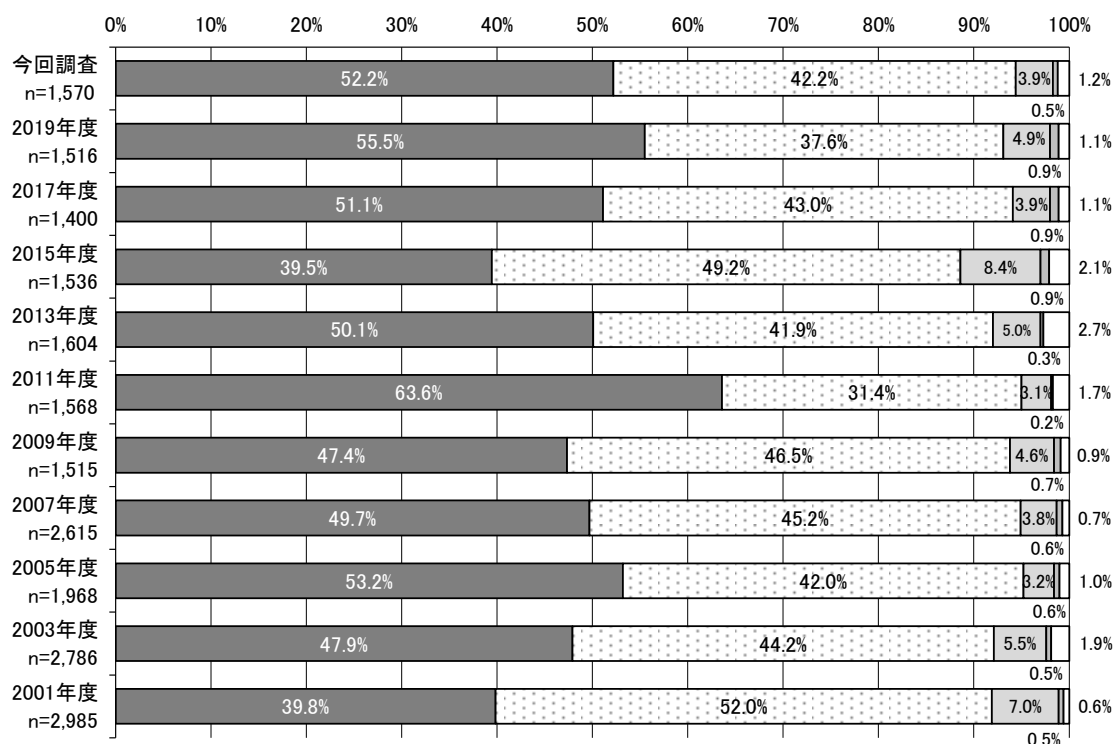
県内にお住まいの1,570人にうかがいました。

南海トラフ地震や豪雨など大規模災害への関心

あなたは、南海トラフ地震や豪雨などの大規模災害の発生に関心がありますか？

「非常に関心がある」と「少し関心がある」を合わせ、94.4%の人が「関心がある」と答えています。また、その割合は前回より1.3ポイント増加しています。

※2015年度から2019年度は東海地震、東南海地震、南海地震等の南海トラフ地震についての関心です。
2011年度、2013年度は東海地震、東南海地震、南海地震等の連動発生についての関心です。
2009年度調査以前は東海・東南海地震についての関心です。



■非常に関心がある □少し関心がある □あまり関心がない □全く関心がない □無回答

注：図中などで用いている記号 n：回答者数を示しています。

本調査の概要

- 調査地域 愛知県全域
- 調査対象者 20歳以上の県民 3,000人
- 調査時期 2021年7月2日～20日
- 調査方法 郵送法
- 有効回答率 52.3% (1,570人)
- 調査委託先 社会福祉法人AJU自立の家 わだちコンピュータハウス



防災安全局防災部防災危機管理課啓発グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話：052-954-6190 (ダイヤルイン)
e-mail: bosai@pref.aichi.lg.jp

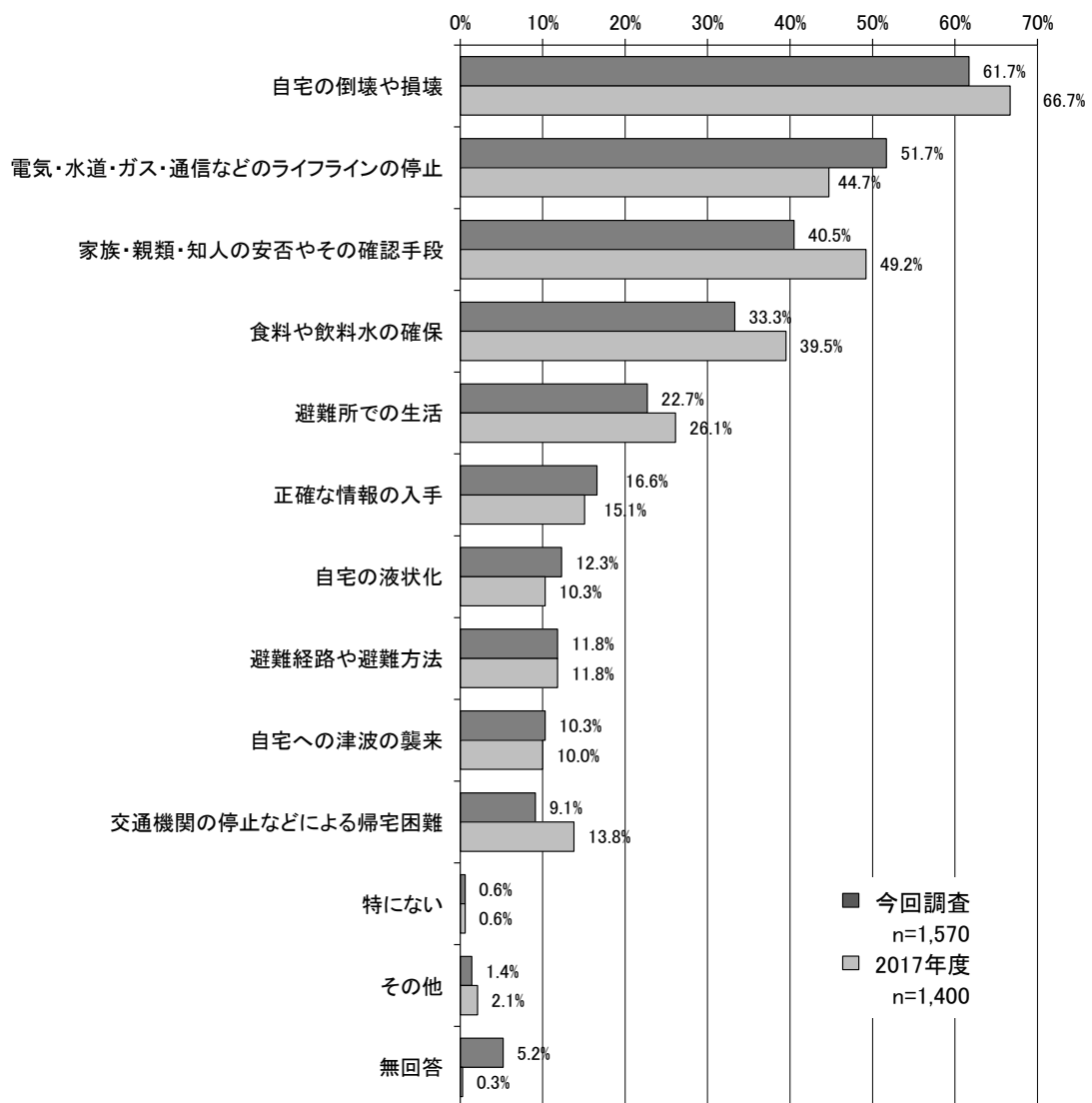
南海トラフ地震等大規模災害発生時の不安

南海トラフ地震等の大規模災害が発生した場合、不安や危険に思うことは何ですか？

(○は3つまで)

※2017年度は南海トラフ地震発生時の不安や危険に思うことです。

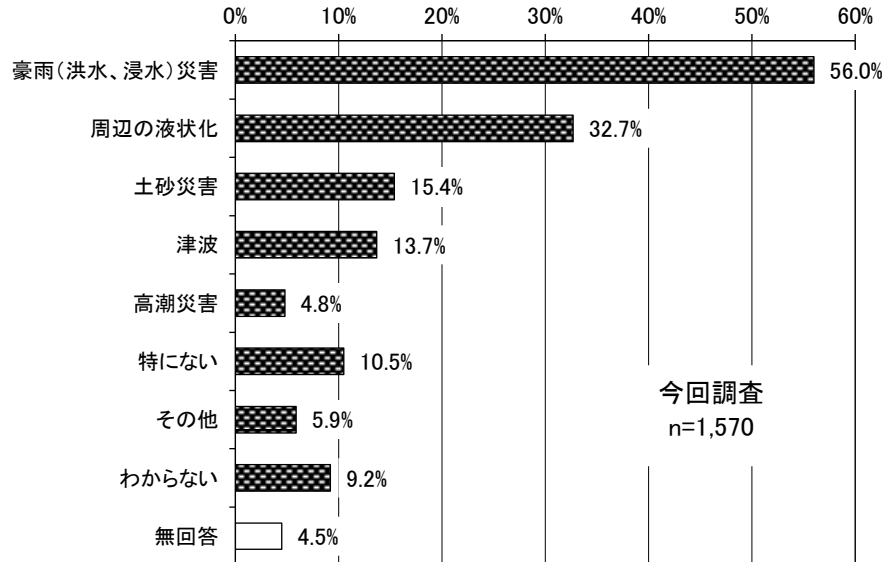
61.7%の人が「自宅の倒壊や損壊」、51.7%の人が「電気・水道・ガス・通信などのライフラインの停止」と答えています。



居住地で発生する可能性が高いと思う災害

ご自宅やご自宅周辺地域で発生する可能性が高いと思う災害は何ですか？（〇は3つまで）

56.0%の人が「豪雨（洪水、浸水）災害」、32.7%の人が「周辺の液状化」と答えています。

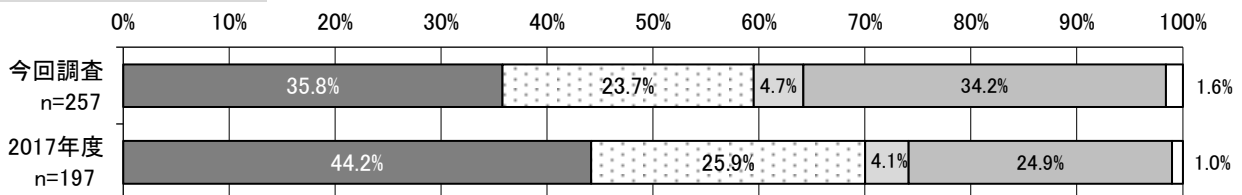


市町村の無料耐震診断・耐震改修費補助

〈昭和56年5月以前着工の木造・戸建て持ち家にお住まいの方にうかがいました〉

県内の市町村では、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅（旧耐震基準で建築した住宅）の無料耐震診断や耐震改修費補助を行っています。あなたはこのことを知っていますか？

35.8%の人が「両方知っている」と答えていますが、前回より8.4ポイント減少しています。

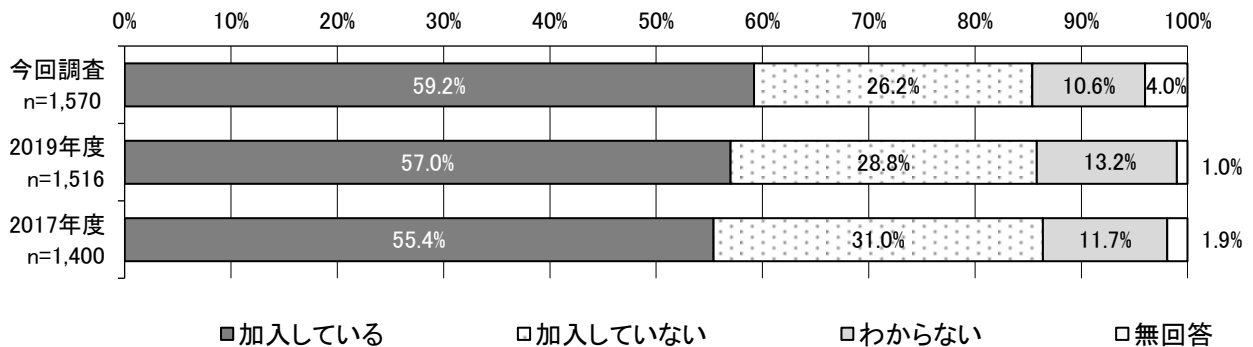


- 無料耐震診断と耐震改修費補助を両方知っている
- 無料耐震診断を知っている
- 耐震改修費補助を知っている
- 両方とも知らない
- 無回答

地震保険や共済の加入

地震や津波による損害が補償される地震保険や共済保険（県民共済、JA 共済、全労済など）に加入していますか？

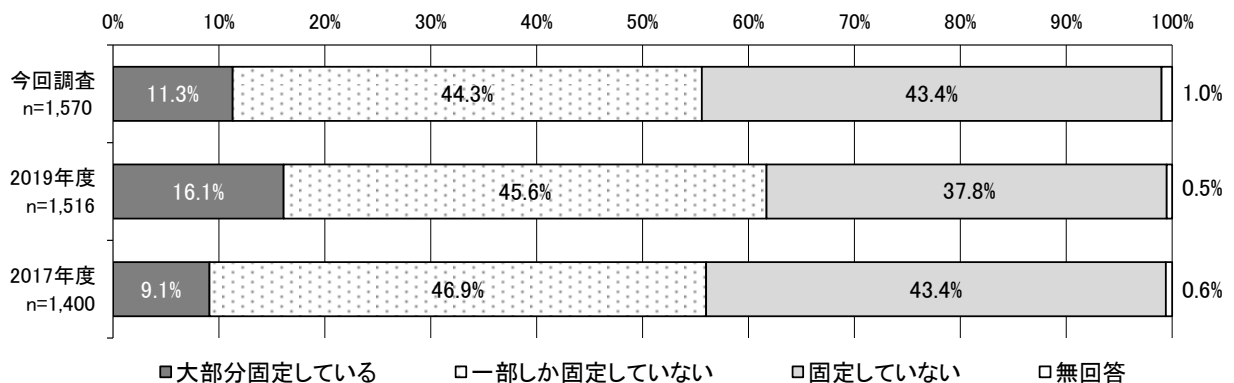
59.2%の人が「加入している」と答えており、前回より 2.2 ポイント増加しています。



家具などの固定

あなたのお宅では、家具や家電（冷蔵庫・テレビなど）の固定をどの程度していますか？

55.6%の人が家具などの固定を「大部分」又は「一部」していると答えていますが、前回より 6.1 ポイント減少しています。

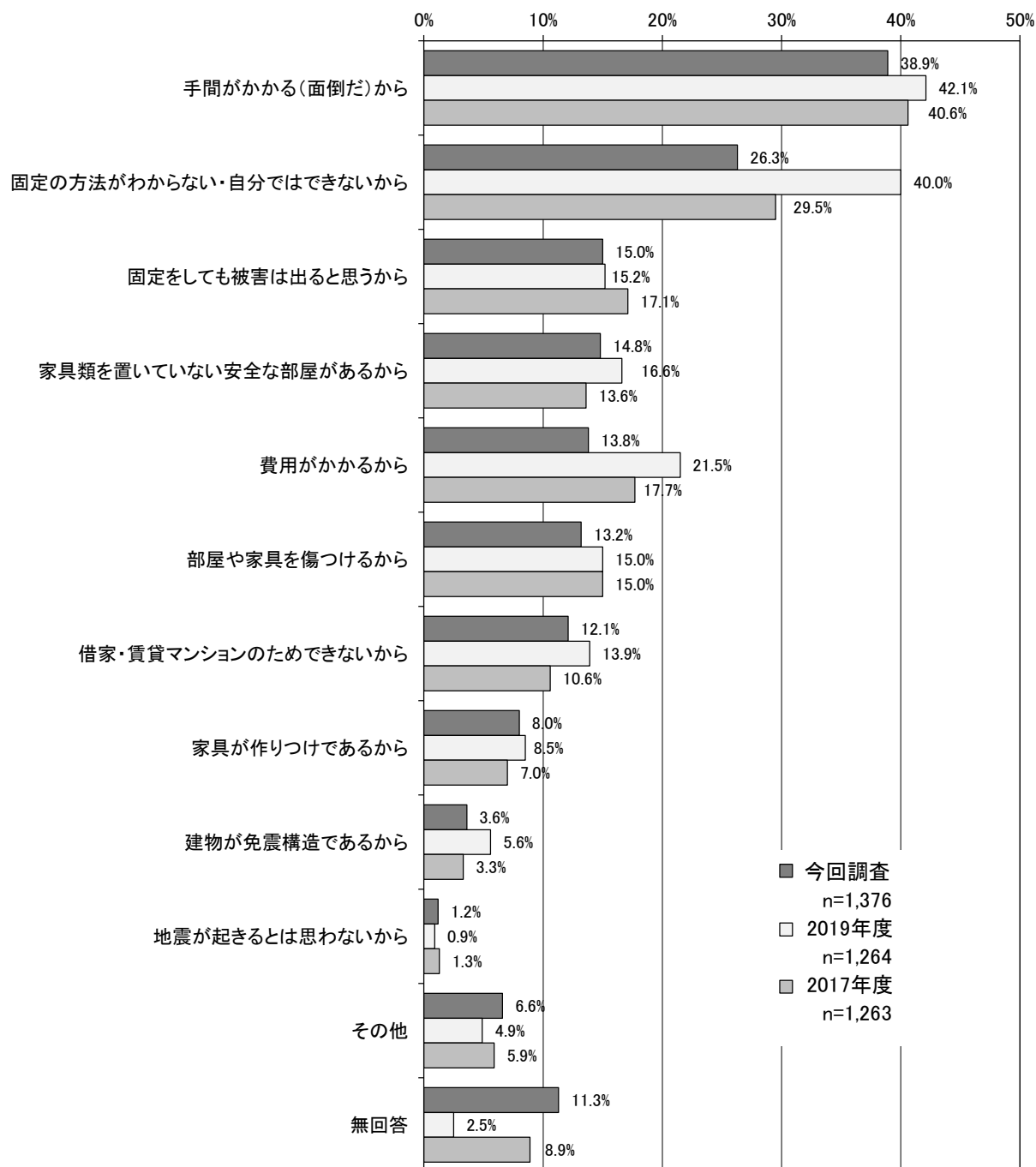


家具などを固定しない理由

〈全員を対象とした住まいの家具固定に関する設問で、「一部しか固定していない」「固定していない」と回答した方にうかがいました〉

家具・家電を固定していない理由は何ですか？（○は主なものを3つまで）

多い理由は、「手間がかかる（面倒だ）」（38.9%）、「固定の方法がわからない・自分ではできない」（26.3%）などです。

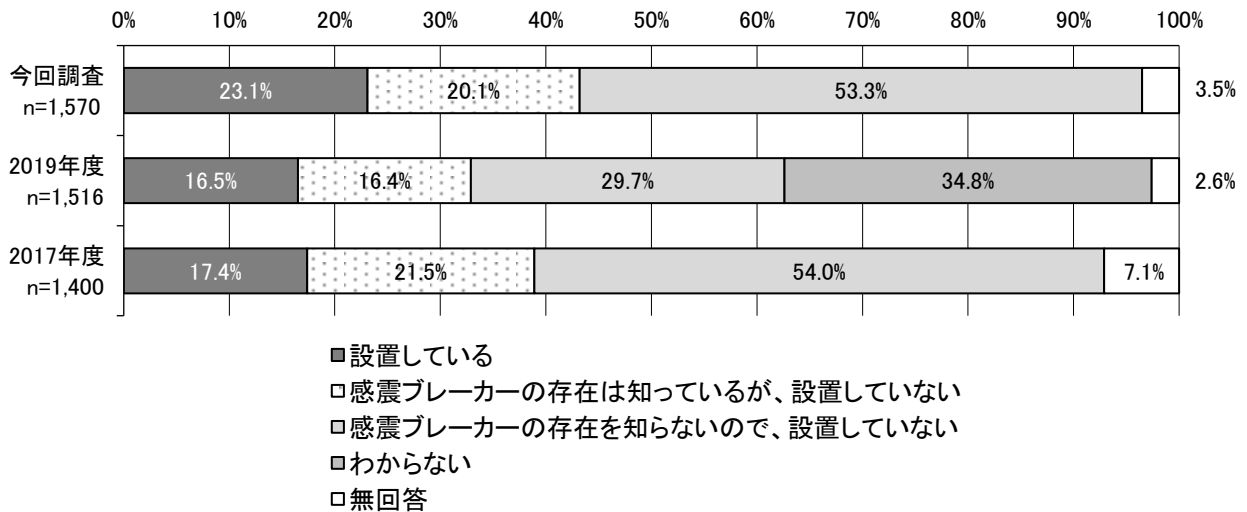


感震ブレーカーの設置

あなたのお宅では感震ブレーカーを設置していますか？

※2019年度のみ「わからない」の選択肢を設定しました。

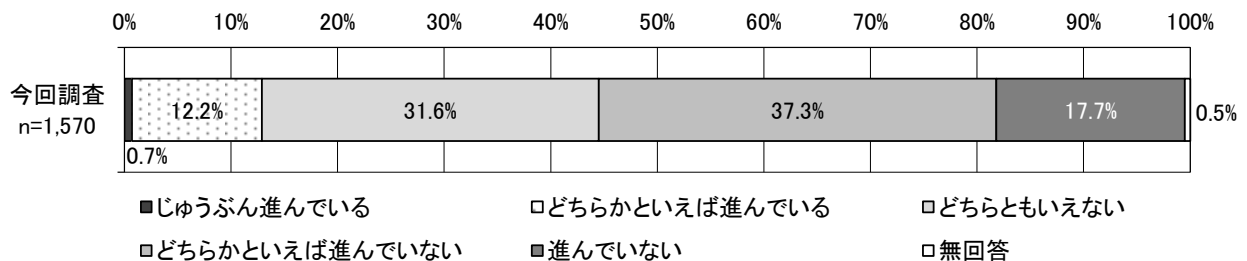
23.1%の人が「設置している」と答えており、前回より6.6ポイント増加しています。一方で53.3%の人が「存在を知らないので、設置していない」と答えています。



あなたの防災対策

あなたの防災対策は進んでいると思いますか？

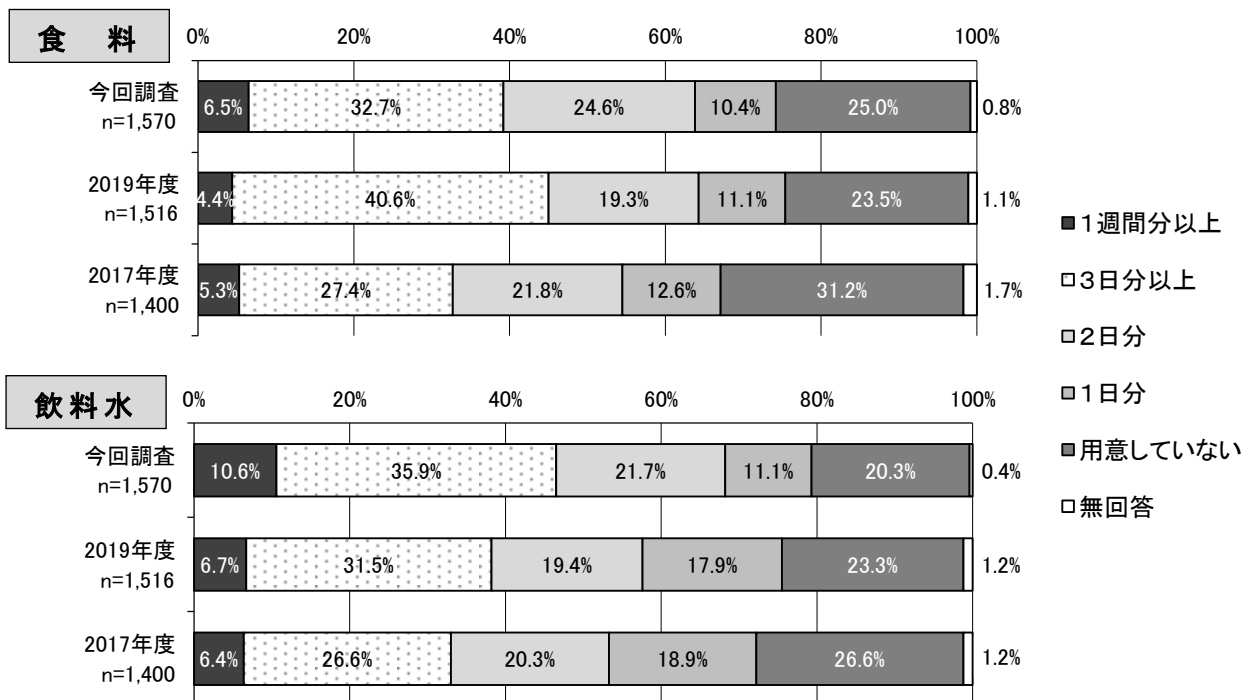
55.0%の人が「進んでいない」又は「どちらかといえば進んでいない」と答えています。



食料・飲料水の準備

大規模地震の発生に備えて、非常用の食料や飲料水は、可能な限り1週間程度、最低でも3日分程度が必要だといわれています。あなたのお宅では、大規模災害の発生に備えて食料や飲料水を何日分備蓄していますか？

非常用の食料や飲料水を「3日分以上用意している」人は、食料が39.2%、飲料水が46.5%です。
また、「用意していない」人の割合は、食料が前回より1.5ポイント増加し、飲料水が前回より3.0ポイント減少しています。



(防災豆知識)

地震などの広域災害の場合、情報や救急用品、生活必需品等はすぐに被災地に届きません。家族の皆さんや、近所の方々と協力し合い救援を待つため、可能な限り1週間程度、最低でも3日分程度の備蓄品を準備しておきましょう。



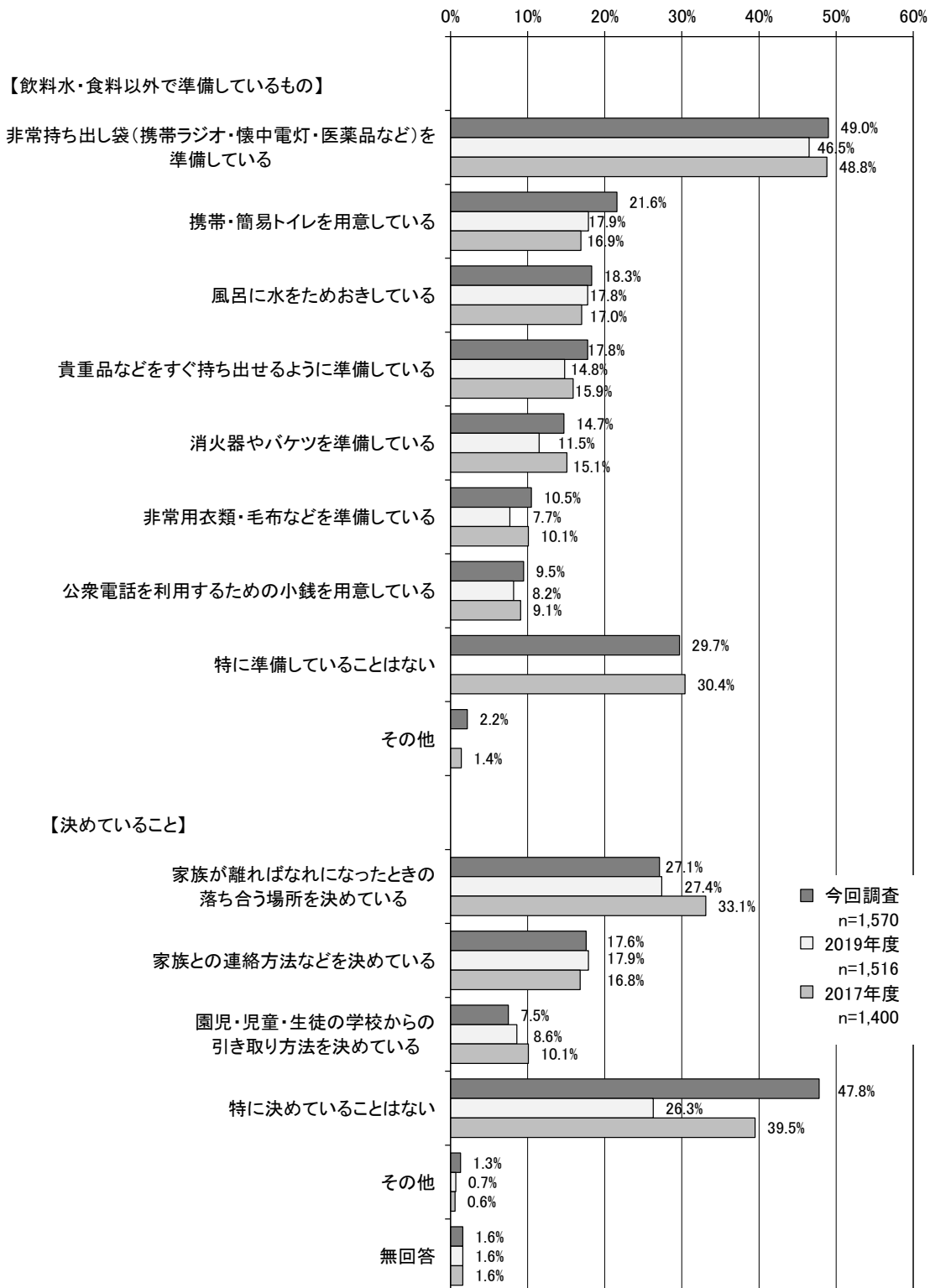
家庭での災害対策

あなたのお宅では、南海トラフ地震や豪雨などによる大規模災害が発生した場合に備えて、次の対策のうち日頃から行っていることはありますか？（〇はいくつでも）

※2019年度以前は、南海トラフ地震のような大規模地震が発生した場合に備えての対策です。

※【飲料水・食料以外で準備しているもの】について、2019年度は「特に準備していることはない」及び「その他」の選択肢を設定していません。

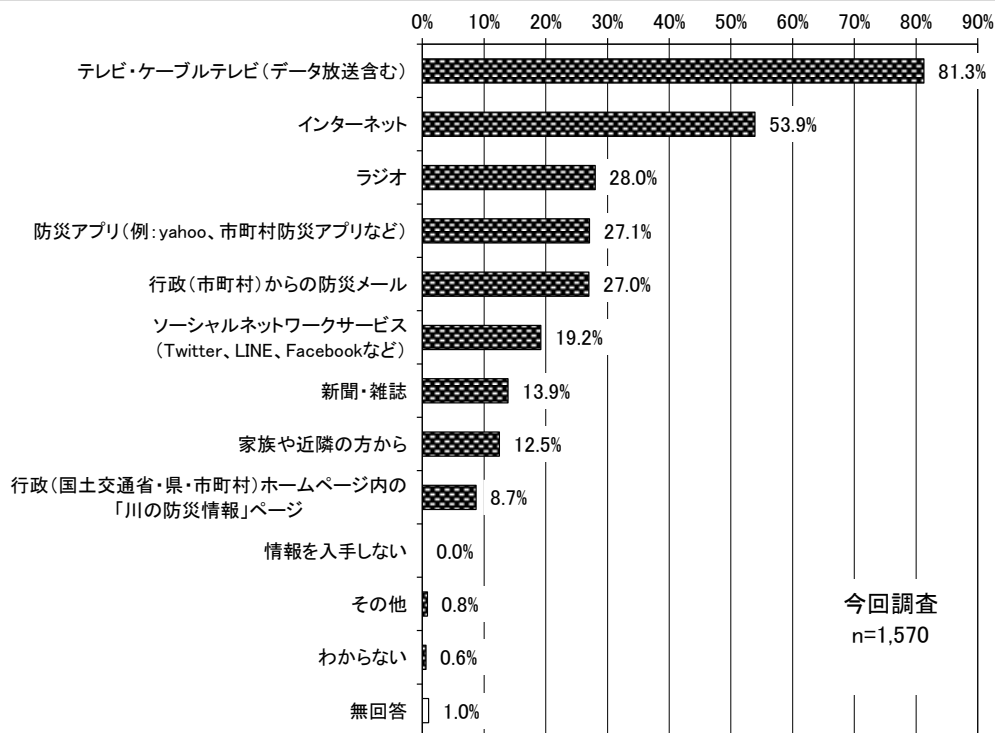
飲料水・食料以外では49.0%の人が「非常持ち出し袋」を準備し、27.1%の人が「家族が落ち合う場所」を決めています。



豪雨などの時の雨や河川の情報源

あなたは豪雨などの時に雨や河川の情報をごどこで入手しますか？（〇はいくつでも）

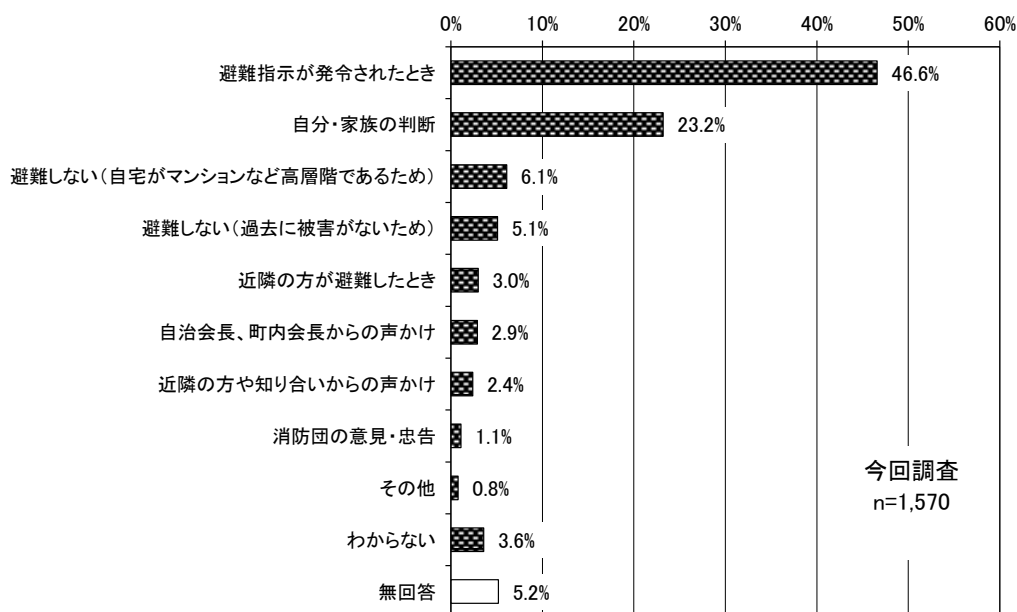
「テレビ・ケーブルテレビ（データ放送含む）」（81.3%）、次いで「インターネット」（53.9%）、「ラジオ」（28.0%）の順となっています。



水災害時の避難

あなたは水災害時にどのような状況になったら避難しますか？

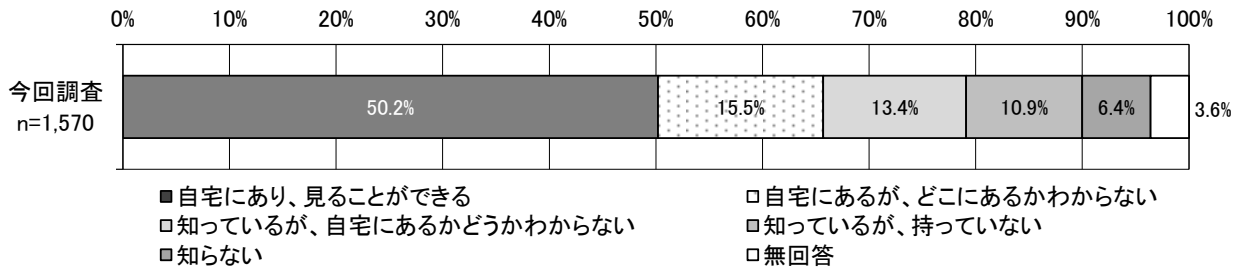
46.6%の人が「避難指示が発令されたとき」、23.2%の人が「自分・家族の判断」と答えています。



地域の防災マップやハザードマップの所有

あなたは、市町村が作成、配布している、地域の防災マップやハザードマップ（地震や洪水等）を持っていますか？

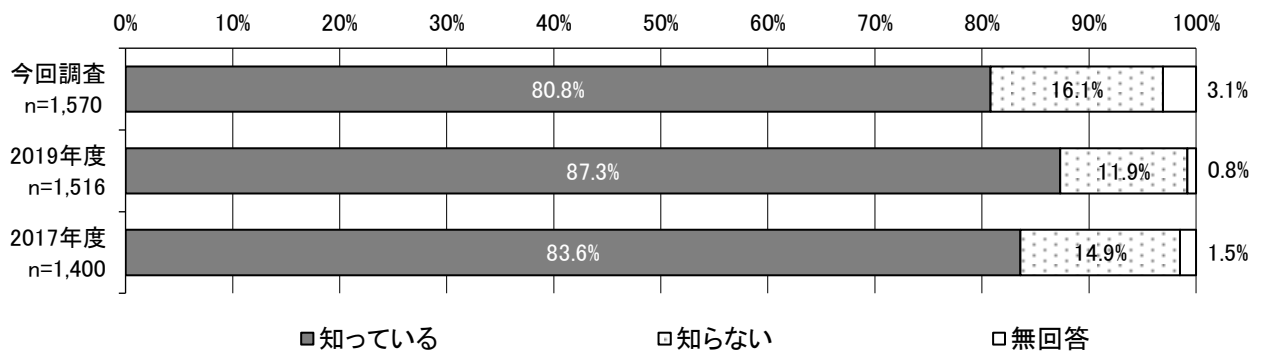
50.2%の人が、「自宅にあり、見る事ができる」と答えています。



避難場所

大規模災害などに備えて、市町村ではあらかじめ避難場所を指定しています。あなたは、指定された避難場所を知っていますか？

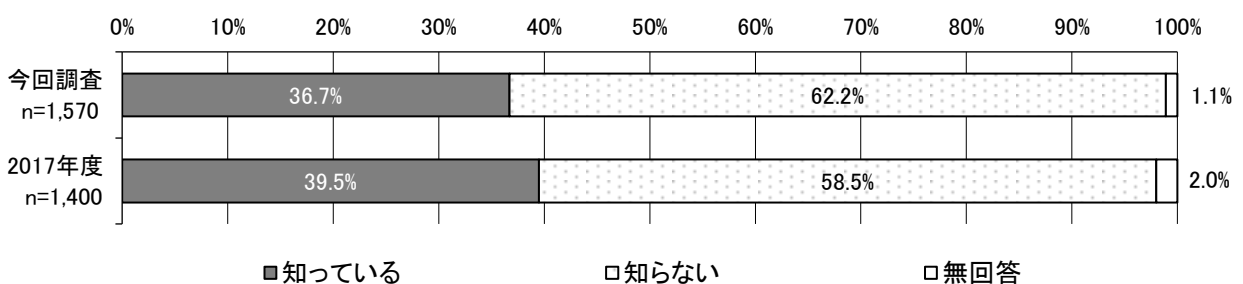
80.8%の人が「知っている」と答えていますが、前回より6.5ポイント減少しています。



地域の自主防災組織

あなたがお住まいの地域には自主防災組織があるか、知っていますか？

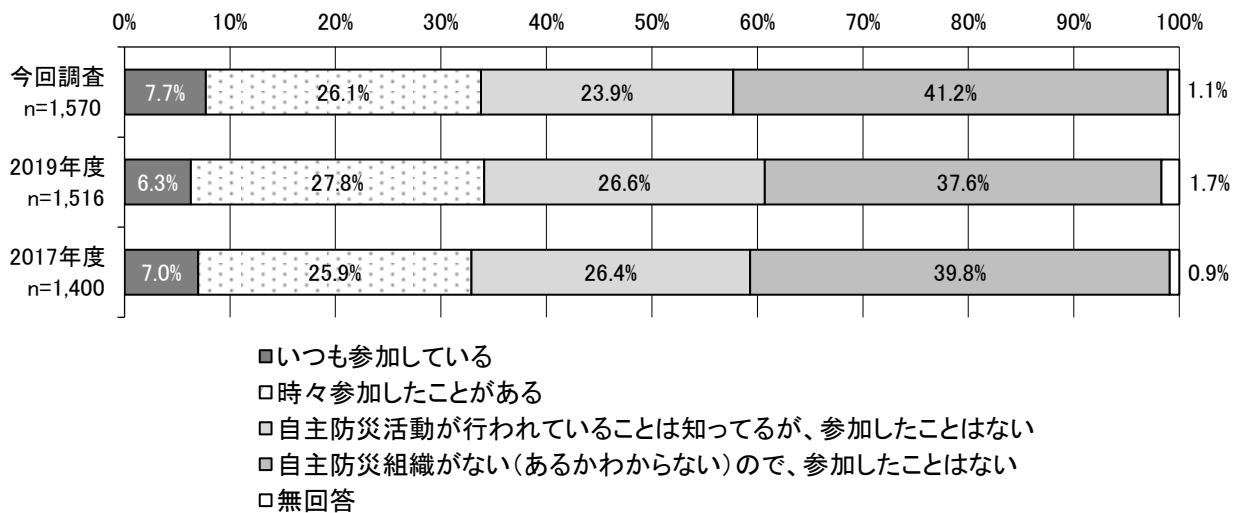
36.7%の人が「知っている」と答えていますが、前回よりも2.8ポイント減少しています。



地域の自主防災活動への参加経験

町内会や自治会、自主防災組織（消防団を除く）などにおいても住民の自主的な防災訓練や防災活動（防災機材の点検、防災知識の普及など）が行われています。あなたは、こうした自主防災活動に参加したことがありますか？

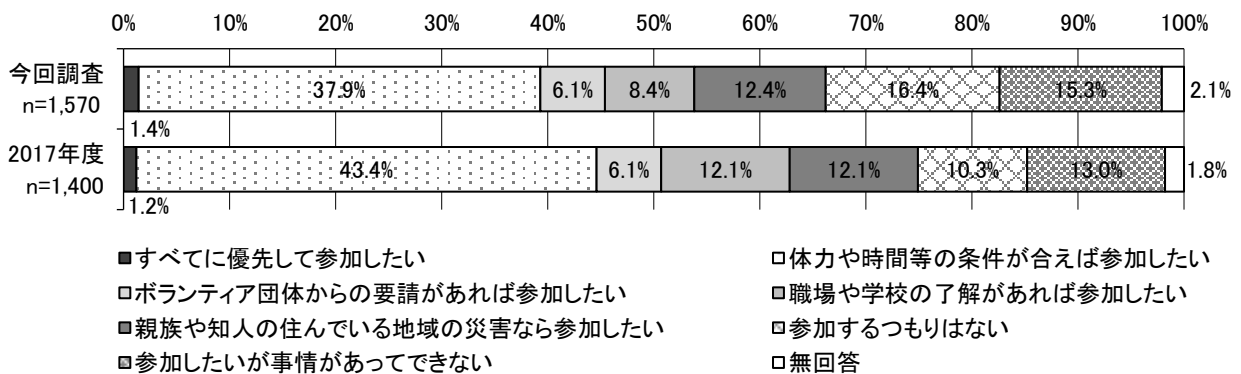
自主防災活動に33.8%の人が「いつも参加している」又は「時々参加したことがある」と答えています。また、その割合は前回並みとなっています。



被災地でのボランティア活動への参加意向

災害が発生すると、被災地では救援・医療活動や復旧活動、物資の搬送や情報伝達といった様々な支援が必要となってきます。あなたはお住まいの地域以外で災害が発生したとき、このような活動にボランティアとして参加したいと思いますか？

66.2%の人は、条件次第で「参加したい」と思っていますが、前回より8.7ポイント減少しています。



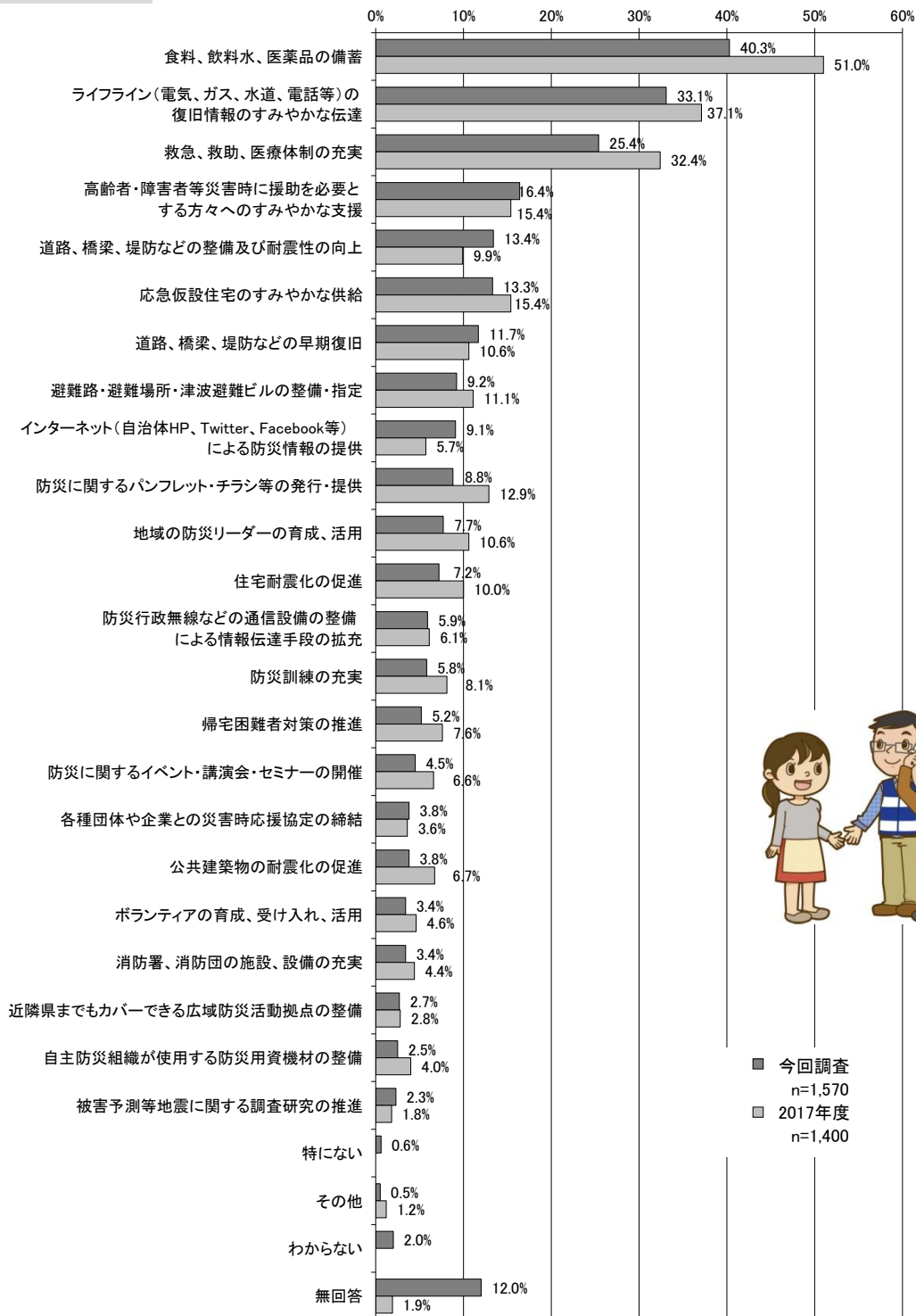
県や市町村に力を入れてほしい防災・災害対策

あなたが、県や市町村に特に力を入れてほしい防災・災害対策は、どのようなことですか？
(〇は3つまで)

※2017年度は県や市町村に力を入れてほしい地震対策です。

今回調査から「特にない」「わからない」の選択肢を設定しました。

40.3%の人が「食料、飲料水、医薬品の備蓄」、33.1%の人が「ライフラインの復旧情報のすみやかな伝達」、25.4%の人が「救急、救助、医療体制の充実」を望んでいます。



■ 今回調査
n=1,570
□ 2017年度
n=1,400